

仙高の風

仙台市立仙台高等学校地域情報紙
水平線の見える学校
令和6年4月26日発行



令和6年度 仙高第79回生 入学式挙行



令和6年4月8日(月)快晴、令和6年度入学式が行われました。緊張した面持ちの新入生は吹奏楽部の演奏にあわせ、クラス担任の先導の下、体育館に入場しました。クラス担任から一人ひとり名前を呼ばれ、280名の入学が許可されました。岩井校長の式辞の中には「地球規模で物事を考える視点を身につけ、より良い未来社会に貢献できる人になって欲しい」という激励の言葉がありました。

新入生を代表して伊藤縁さんは「仙台高校の”自主自立”の教育理念の下、行事だけではなく、部活動や普段の授業など、自主性をもって取り組んでいきたいと思います。」と誓いの言葉を述べました。

式後の昇降口付近では、部活動の勧誘に、新入生に声をかける2、3年の先輩の姿が多く見られました。

新任式・始業式

4月8日(月)、令和6年度新任式、始業式が行われました。新任式では岩井校長から今年度本校に新しく赴任された先生方の紹介があり、新任者を代表して大友久美子先生から着任のご挨拶がありました。引き続き、始業式の校長講話では岩井校長から松下幸之助著『道をひらく』の中から、自信が持てないときに背中を押してくれる心に響く言葉の紹介がありました。以下その文を抜粋します。「100の事を行って1つだけ成ったとしたら、それは果たして失敗か成功か。多くの場合、事の成らない事を悲観し、再びその事を試みなくなる。しかし考えてみれば全て失敗したのではない。一つは成功している。それは他の99にも成功の可能性があるということ。そう考えれば勇気がわく、希望が生まれる。一つのことを足がかりにして、自信を持って再び99に挑むことができる。こうなれば成功したも同然。要はどちらに目を向けるか。一つに希望を持つか。99に失望するか。失敗か成功かの分かれ目がそこにある。」



対面式

4月10日(水)、2、3年生と新1年生の対面式が行われました。生徒会執行部の生徒が各1年生教室から体育館まで誘導し、全校生徒が一同に第一体育館に集まりました。生徒会副会長の木島奏太さん(3年)から仙台高校の1日の流れや、年間の行事予定等、丁寧な紹介がありました。また先輩から後輩へ「命を大切にみんなで守り、はぐくむ」ためのシンボルである『ユッカ』(観葉植物)の引き継ぎもありました。



新入生オリエンテーション



4月9日(火)～11日(木)にかけて新入生オリエンテーションが開かれました。クラス開きの後は、校舎見学や委員会の係決め、グループエンカウンター実習等が行われました。部活動紹介ではユーモア溢れる先輩方のパフォーマンスに新1年生も大いに盛り上がりました。これから始まる高校生活に期待を膨らませている明るい表情がとても印象的でした。



仙台高校に赴任して

教諭 権藤和生

むかしむかしまだ私が大学を卒業してまもない頃、在学中に受験した教員採用試験に不合格となり、就職浪人を1年過ごした後の2年目の春、3月の初めの頃のお話です。

私の下に一本の電話がかかってきました。その電話こそが仙台高校からの非常勤講師依頼の電話でした。中学校で教育実習を行った私は、高校の教壇に立つのはそれが初めてのことでした。ほぼニート生活だった私は迷わずこのオファーを受け、そこから私の教員(講師)生活がスタートしたのです。そんなわけで、私にとって仙台高校はスタート地点、第二の母校といっても過言ではない特別な学校なのでした。そして実はその後何校かを転々としたのち、2度目の勤務もありました。そうです、今年度4月に着任したのは実は5年ぶり3度目の勤務だったのでした。

ですが、教諭としての勤務は今回が初めてであり、前任校が定時制高校であったこともあり、初心に戻って一からのリスタートのような思いです。今回、機会に恵まれ、1年生の担任から始めさせていただけることになり、緊張しつつも、とてもワクワクもしています。年甲斐もなくはしゃぎすぎないように注意しなければと思っていますが、すでに手遅れかもしれませんね。遅咲きの私は残りの教員生活をめいっぱい楽しみたいと考えています。自分自身が楽しんで過ごすことで、仙高生も楽しんで学校生活を送れるようにと思いつつ、少しでも仙台高校に恩返しができるように頑張っていきたいと思つています。



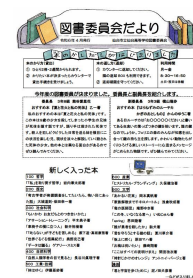
サッカーとの出会い

サッカー部キャプテン 3年 桐ヶ久保心穏さん

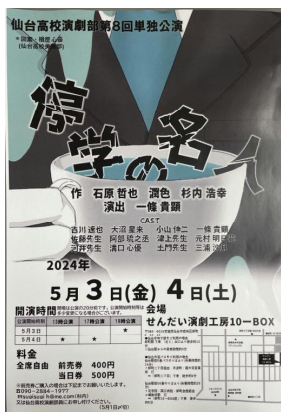


私がここまで成長できたのはサッカーのおかげです。サッカーはとても面白いスポーツです。その魅力は、仲間との連携や試合中の緊張感、戦術の練り直し、それに伴う成長の喜びにあると思います。

また、サッカーからは様々なことを学ぶことができます。厳しい現実にも直面しても、へこたれることなく立ち向かうタフな精神力、コツコツと小さな努力を積み重ねる粘り強さ、そして何よりも人をリスペクトする思いやりや優しさ、感謝の心、など色々な事を学びました。その一方で、部長としての責任を重く感じることもありましたが、メンバーのモチベーション維持やチームの結束力を高めるためには、日々の努力や熱意が欠かせません。しかし、それらの努力が実を結んだ時に得られる達成感は何ものにも代えがたいものです。サッカーは単なるスポーツではなく、人生を豊かにする素晴らしい経験と成長、出会いの機会を提供してくれるものです。



本校では月1回、「図書委員会だより」を発行しています。図書委員会が中心となり、新作本やお薦め本等を紹介しています。今月号は新しく赴任された先生方による本にまつわるエピソード等が紹介されていました。毎月趣向を凝らした特集があります。



令和6年度教職員異動(敬称略) ● 転入職員

齋藤聡(仙台工業高から) 権藤和生(仙台大志高から)
青木健一(仙台青陵中等教育学校から) 和歌山広希(新任)
鈴木太一(新任) 伏見俊昭(鶴谷特別支援学校から)
吉田研介(上杉山中から) 鳥喰聡子(仙台青陵中等教育学校から)
大友久美子(仙台商業高から) 佐藤源太郎(新任)
黒田惣一郎(仙台青陵中等教育学校から) 黒石真那(新任)
菅野拓真(新任) 杉本大夢(新任) 阿部櫻(新任) 金子元気(向陽台中から)

演劇部公演・吹奏楽部演奏会ご案内

- 演劇部第8回単独公演
5月3日(金)19時・4日(土)13時、17時開演
せんだい演劇工房にて
- 第57回吹奏楽部定期演奏会
5月19日(日)15:00 広瀬文化センターにて

〒 981-8502 仙台市青葉区国見 6-52-1 担当:主幹教諭 阿部頼人
Tel 022-271-4471 URL <http://www.sendai-c.ed.jp/~sendaihs/>
『仙高の風』バックナンバーはホームページからもご覧いただけます。